

JA新ひたち野蓮根部会玉里支部がJGAP団体認証取得に取り組んでいます

JA新ひたち野蓮根部会玉里支部は、県の「露地野菜産地イノベーション推進事業」を活用し、レンコンでは全国初となるJGAP団体認証取得に向けて活動しています。部会長をはじめとする7名の部会員が取り組んでおり、普及センターでは、外部アドバイザーと連携した各農場の改善点の洗い出しや、全農が開発した営農管理ソフト「Z-GIS」の活用について支援してきました。令和4年11月に団体の内部監査を終え、令和4年12月に本審査を行い、今年1月に認証取得が見込まれています。



▲写真:内部監査の様子



小美玉農業青年クラブの活動 茨城町援農隊活動について研修を行いました

小美玉農業青年クラブでは、こども食堂への食材提供など、コロナ禍でも可能な内容を考え、積極的に活動しています。この度、農業における労働力不足を課題ととらえ、自分たちにできることを模索するため、茨城町で行われている「援農隊事業」の研修を行いました。

研修にはクラブ員4名が参加し、援農隊事業の事務局である茨城町農業公社の担当者からお話を伺いました。当事業は茨城町の農業者と、農業でアルバイトをしたい援農者をマッチングする取り組みで、平成27年から継続されています。農業者にとって、繁忙期の一時的な労働力確保や、マッチングをきっかけとした周年でのパート従業員確保につながっています。

クラブ員は研修で学んだことを踏まえ、小美玉市での労働力確保についてより良い方策を検討しています。



県央水戸アグリ情報

令和4年度 第2報
(令和5年1月18日発行)

発行:県央農林事務所 経営・普及部門
(水戸地域農業改良普及センター)
水戸地方農業改良推進協議会
Tel 029-227-1521
Fax 029-225-0955

農業経営者のための雇用管理研修会を開催しました

近年、農業法人に就職する方や農家に従業員として雇われる方が増えていますが、「雇ってもすぐ辞めてしまう」「良い人材が見つからない」等、雇用の確保や従業員の定着・育成について頭を悩ませているという話を聞く機会が増えてきました。

そこで、普及センターでは雇用に関して悩みを抱えている方、新たに雇用を考えている方を対象に令和4年11月11日、水戸合同庁舎大会議室において「農業経営者のための雇用管理研修会」を開催しました。

当日は、農業者・関係機関合わせて32名が参加し、基本的な雇用管理や人材に長く働いてもらうための手法について学びました。また、講師先生を交えての個別相談も併せて行いました。

参加者からは「アルバイト・パート・正社員の違いについて」や「農業機械等を壊された時の対応」等、様々な質問が出ており、雇用管理への関心の高さが伺えました。

研修に参加できなかったが、雇用管理の方法について相談したいという方は、県の「農業参入等支援センター」や中小企業庁が設置している「茨城県よろず支援拠点」等でも相談できます。



写真:雇用管理研修会の様子

水戸地域農業学園のご紹介



普及センターでは、就農後間もない農業者に栽培技術や経営を管理するうえで必要な知識の習得を支援するため、「水戸地域農業学園」を毎年開催しています。

学園生は、新たに就農した方や親元就農した方で、就農後おおむね3年目までの方を対象としています。講座内容は、先輩農業者のほ場見学から農業簿記の活用方法まで多岐にわたります(下表)。

また、就農して良かったことや困っていることなどについて学園生同士で共有できるよう、新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえでグループワークの時間を設けています。

この取組について学園生からは、「他の学園生から意見をもらうことで農業経営における問題や目標を再確認することができた」などの意見をいただくことができました。

令和5年度も、学園生からの意見を基に、茨城県の農業を担う若い力を育ていけるような学園を開催する予定です。是非ご参加ください。



▲写真:病害虫防除・農業講座の様子



▲写真:先輩農業者ほ場見学の様子

令和4年度開催内容	
①	先輩農業者ほ場見学
②	経営管理講座
③	病害虫防除・農業講座
④	種苗会社見学
⑤	土づくり講座
⑥	農業機械研修
⑦	先輩農業者ほ場見学

農福連携の取組事例について

普及センターでは、小美玉市の農業者から「根ショウガの調製作業で労働力を確保したい」との相談があったため、農業者と福祉事業所のマッチングを目的とした農作業体験会を開催しました。普及センターは農業者から委託したい作業内容や必要な人員等を聞き取り、茨城県共同受発注センターと連携し、農業者と福祉事業所のマッチングを図りました。

農作業体験会(マッチング)では、農業者から福祉事業所の生活支援員に根ショウガの調製方法を説明し、福祉事業所の利用者(以下利用者)が行える作業かどうか判断して頂いた後、実際の作業に移りました。根ショウガの根を除去して葉をカットする作業では、カットする部分の判別が利用者には困難ということが判明したため、利用者は根ショウガの根を除去する作業に専念し、カット作業は従業員が行う工程に変更しました。その結果、根ショウガ調製作業を細分化して1人当たりの作業負担を軽減することができました。

このように農福連携は、労働力確保だけでなく生産工程や作業体系を見直す機会ともなり、農業生産の効率化による経営発展等を図ることが期待されています。



農福連携とは?

障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります(農林水産省HPより抜粋)。



▲除去した根は黄色のコンテナ、調製済みの根ショウガは青コンテナに入れるなど分かり易くなるよう工夫しています。

いばらき農業アカデミーのご紹介

茨城県では、「いばらき農業アカデミー」により農業に関する総合的な学びの場を提供しております。本年度のカリキュラムについては右のQRコード先のHPをご覧ください。令和5年度の詳細については時期が来ましたらHPに掲載されます。



貯蔵期のサツマイモ基腐病の 注意点について

サツマイモ基腐病は糸状菌(カビ)により引き起こされ、保菌した苗・イモ・残さ(葉や茎の残がい)等が伝染源となります。発生すると防除が難しく、被害が拡大する恐れがあるので、貯蔵期には以下の点について注意しましょう。

- サツマイモ基腐病に感染したイモは、なり首側からゆっくりと腐敗します。
- 収穫時に症状がない場合でも貯蔵中に腐敗することがあります。
- イモが腐敗する主な病気は、基腐病以外にも、黒斑病、白腐病、軟腐病等がありますが、疑わしい症状のイモを見つけた場合、そのイモを貯蔵しているコンテナを隔離し、速やかに普及センターまでご連絡ください。

サツマイモ基腐病及びイモが腐敗する主な病気(糸状菌)

病気	写真	特徴
基腐病 ※1		感染したイモや苗、土壌に残った発病残渣により発生が拡大する。 感染したイモは、なり首側からの変色や腐敗、萌芽等が発生する。
黒斑病 ※2		畑ではハリガネムシやコガネムシ類等の食害痕から菌が侵入し感染する。 感染したイモに黒色の病斑が発生し、外見が健全でも貯蔵中に発病することがある。
白腐病 ※3		水により広がるので、水はけの悪い畑や雨が多かった時の発生が多い。 イモの表面は固いが、内部は白～淡褐色に腐敗する。病気が進展すると、腐敗部分は白色に固まり空洞になる。
軟腐病 ※3		収穫時や出荷時にできた傷口から菌が侵入し感染する。 発病適温は30℃前後で、最初にイモが暗褐色で水浸状になり、その後、軟化・腐敗する。

*1 写真出典: 生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html

*2 写真出典: 茨城県農業総合センター病害虫防除部 <https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/byobo/index.html>

*3 写真出典: 茨城県農業総合センター農業研究所病虫研究室 <https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/byochu/byoututop.html>

疑わしい症状を見つけた場合は、速やかに普及センターまでご連絡ください。

出荷期予測シートを使ってキャベツの 収穫日(出荷日)が予測できるようになりました

果園芸研究所では、加工・業務用キャベツの主要品種である「初恋」及び「おきなSP」について、気象データと生育データから収穫日(出荷日)が予測できる出荷期予測シート(以下予測シート)を開発しました。この予測シートはエクセルを活用しており、①定植日、②苗葉数を入力すると結球部が収穫予定重量(約1.5~2kg/個)に達する日(収穫予測日)が表示されます。加工・業務用キャベツを栽培するJA水戸茨城町キャベツ生産部会では、生産者全員のデータを予測シートに入力し、結果をグラフにまとめてJA担当者が商談の際に活用しています。

▼予測シート一部抜粋「定植日(予定日)」と「苗葉数」から出荷期予測ができる

①定植前の出荷期予測シート(作付け計画作成シート)
☆作付け前に、■に、(ほ場No.、面積、定植日、苗葉数、栽培適度(うね間Om・株間O))を入力して、収穫適期を予想し、作業スケジュールを立てましょう。

品種	作型	目標1個重(kg)	14	15	16	17	18	19	20	21
初恋(早生品種)	夏どり	収量(t)	5.8	6.3	6.7	7.1	7.5	7.9	8.3	8.8
		結球部直径(cm)	20.8	21.1	21.5	21.8	22.1	22.4	22.6	22.9

※「ほ場名」「面積」「定植日」「苗葉数」を記入してください。

ほ場No又は名称	面積(a)	定植日	活着日数	苗葉数	収穫(やや早)					収穫適期					
茨城A	21	3月11日	5	4.0	5月29日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月7日			
茨城B	31	3月12日	5	4.0	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月5日	6月6日	6月7日			
茨城C	11	3月13日	5	4.0	5月30日	5月31日	6月1日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日			
茨城D	21	3月31日	5	4.0	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日			

この予測シートは出荷予測の他にも、予測結果によって労働力に合わせた無理のない作付け計画づくりや出荷時期に合わせた農薬選定にも活用できます。

こんなことはありませんか?

来週出荷したいのに先週収穫2週間前までの農薬を散布してしまった

収穫が間に合わず割れてしまった

定植日や無理なく収穫するための定植日間隔を逆算できる

収穫適期が分かるから出荷に合わせた農薬の散布計画が立てられる

出荷期予測シートを使えば...

予測シートについてご興味のある方、詳しく知りたい方は普及センターまでお問い合わせください。

水稻新品種「にじのきらめき」の実証結果から

県では、令和3年から①熟期は中生、②イネ縞葉枯病に強い、③玄米品質が優れる(高温耐性がある)、④倒伏に強い、⑤多収、⑥粒が大きい、⑦良食味という特性の「にじのきらめき」を準奨励品種に採用しました。今年度、管内に実証圃を5箇所設置したのでその結果についてご紹介します。下表は「にじのきらめき」と「コシヒカリ」の生育・収量の比較です。「にじのきらめき」は、出穂期が5日程度遅く、成熟期は10日程度遅くなりました。稈長は15cm程度短く、倒伏は1地点を除き、ほぼありませんでした。また、千粒重は1.5g程度重く、整粒歩合、食味値も「コシヒカリ」を上回る傾向でした。坪刈り収量は662~734kg/10a、実収は、倒伏が大きかった1地点を除き630~690kg/10aであり、「コシヒカリ」の実収を約100kg/10a上回りました。「コシヒカリ」に比べて施肥窒素量は多くなりますが、収量を確保しやすく品質も優れるため、今後の普及が期待される品種です。栽培に関する詳しいことは、普及センターまでお問い合わせください。



▲写真: ドローンによる追肥作業の様子

品種	調査地点	田植日(月/日)	出穂期(月/日)	成熟期(月/日)	稈長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度(0~5)	千粒重(g)	整粒歩合(%)	食味値	坪刈り収量(kg/10a)	実収量(kg/10a)
にじのきらめき	水戸市小泉町	5/10	8/2	9/19	75	378	0	24.5	73	82	676	633
	水戸市大串町	5/15	8/4	9/22	76	433	0	24.3	77	81	734	690
	水戸市秋成町	5/8	8/3	9/19	89	513	4.5	22.3	60	71	662	510
	茨城町海老沢	5/23	8/10	9/28	78	429	0.3	23.6	73	73	721	630
	那珂市豊喰	5/6	7/27	9/9	78	461	0.8	24.2	78	79	728	685
コシヒカリ	水戸市坏大野町	5/3	7/28	9/9	93	419	1.0	22.3	68	75	559	598
	茨城町上石崎	5/9	7/31	9/10	93	318	0.5	22.2	62	72	546	522